

## SGH シンガポールフィールドワーク報告

付添教員 K.K

7月23日（日）

朝8時 関西国際空港に1年生44名が集合し、チェックイン、出国等予定通り進み、全員無事にシンガポールに入国しました。大阪とほぼ同じ気温、湿度ですが、そびえる見慣れぬ木々に異国を感じます。夕食後ホテルにチェックイン。



シンガポール チャンギ国際空港ロビー

7月24日（月）

午前はシンガポール国立大学でのセッション。「日本研究会」の大学生たちと交流しました。折り紙や書道作品を持参した北野生もおり、それぞれに生の日本の紹介ができていたようです。北野高の代表生徒は素晴らしいスピーチをしてくれました。キャンパス内で昼食をとり、午後は自主研修。チャイナタウンなど、班別にシンガポール市内を回りました。市の象徴であるマーライオン公園に集合し、夕食をとり、黄昏の中をリパークルーズ。涼風に吹かれて川面から眺めるシンガポールの夜景。下船したところで噴水&プロジェクトマッピングのショーに溜息をつき、マリーナベイ・サンズの最上階に上がり、200mの高さからの夜景に感嘆。小さくて精緻な人口都市を堪能しました。



リバークルーズの船上から眺めるマリーナベイ・サンズ

7月25日（火）

午前は現地企業のアジア・オセアニア公文を訪問。現地のスタッフと交流しました。北野高生の練に練った4つのプレゼンは全て大変好評でした。ここでも北野高生のお礼の挨拶はキラリと光っていました。午後はセントーサ島自主研修。全員 USS（ユニバーサルスタジオシンガポール）に入場し、ひと時を楽しみました。



USS（ユニバーサルスタジオシンガポール）の前で

7月26日（水）

朝食後、チェックアウトし、シンガポールの水源として大事な役割を担うマリーナバラッジと植物園を見学。空港へ向かい、一路、日本へ。盛り沢山の3泊4日が終わりました。



マリーナバラッジの屋上より市街地を望む

### 参加生徒感想

研修に参加して

H.Y

研修全体を通して、シンガポールという国の多文化性、そして国全体に溢れる活気に満ちた雰囲気圧倒されました。地下鉄で一駅行けば、中華街だったのがインド系の街に変わるのです。それぞれの文化が力強く栄えながら共存している様子は、私にとってとても新鮮なものでした。

また、国をあげて教育や観光業に力を入れ、様々な政策を行っているのを各所でうかがうことができました。効率的な法律や政策で成長するシンガポールの活気を肌で感じました。

たくさんの発見をし、新たな価値観を見出すことができた4日間でした。



イスラーム寺院と高層ビル群

シンガポール国立大学フィールドワーク

Y.N

シンガポール大学(NUS)へ行きました。NUSは世界トップレベルの大学であり、東大よりもずっと賢いと聞いていたので、訪れる前からとても楽しみにしていました。私達はそこでNUSの学生1人対北野生2人で50分間のフリートーキングセッションを行いました。NUSの学生はとてもフレンドリーで話していて楽しかったのですが、英語で50分間話を続けることは難しく、自分の英語力の低さを痛感しました。将来留学したいと考えているので、とても刺激になる良い経験になりました。

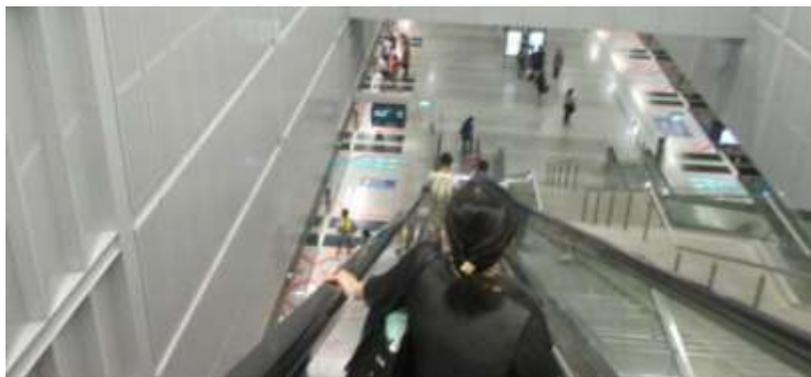


NUS フィールドワーク開会式

## 市内フィールドワーク

## T.I

シンガポール市内フィールドワークで驚いたことは、MRT という地下鉄の発展度合いだ。天井が高く、近未来的なホーム。全駅のホームにある安全扉。切符は全て IC カードのようなもので、しかも電車は自動運転。これには我らが大阪市営地下鉄の負けだと思った。(時刻表がないということに関しては、日本はやっぱり凄いなと思った。) この先進国的な MRT を通して、また 1 つシンガポールの凄さを発見することができて良かった。



地下鉄構内

## 現地企業でのフィールドワーク

## I.A

シンガポール研修3日目の朝に、公文の社員の方々との交流をさせていただきました。雰囲気明るく、とてもきれいな会社で、楽しくお仕事をされている様子が伝わってきました。初めに公文の社員の方々からのプレゼンがあり、公文式の学習法やシンガポールでの生活について知ることができました。その後に北野生によるプレゼンをさせてもらいました。プレゼンを行った4組とも大受けしていてとても嬉しかったです。最後にグループごとに分かれて社員の方とお話をさせていただきました。USS の見どころなどを教えてもらえて、とても有意義な時間となりました。



スナック菓子のプレゼンでお菓子のリュックサックを現地スタッフにプレゼント